

病害虫発生予察情報 11月予報 概要版 (令和6年11月8日発表)

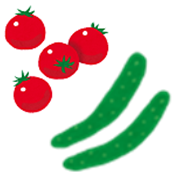
群馬県農業技術センター発生予察係 (病害虫防除所)

★気象の1か月予報 (令和6年11月7日 気象庁発表)

- ・期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。
- ・平均気温は高い確率80%、降水量は多い確率50%、日照時間は少ない確率50%です。

★11月の病害虫予報 注目ポイント!!

トマト・キュウリ コナジラミ類・・・発生量：多い



現在までの発生量は、トマトでやや多く、キュウリで多くなっています。
トマト黄化葉巻病やウリ類退緑黄化病のウイルスを伝搬します。
キュウリ退緑黄化病の発生がやや多い～多くなっている所以注意してください。

野菜類・花き類 ハスモンヨトウ・・・発生量：やや多い



現在までの発生量は、トマトとイチゴでやや多くなっています。
フェロモントラップへの誘殺数は、4地点中3地点でやや多くなっています。
施設では、開口部を防虫ネットで被覆し、成虫の侵入を防いでください。
施設内で幼虫を確認した場合は、防除を徹底しましょう。



ネギ シロイチモジヨトウ・・・発生量：やや多い

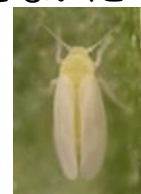
10月のフェロモントラップへの総誘殺数は、2地点ともやや多くなっています。
若齢幼虫の発生に努め、早期防除を行いましょう。



【コラム】〈抑制キュウリ〉コナジラミ類が多くなっています。

現在の栽培で発生している害虫を次作に持ち越さないために
栽培終了後の対策を行いましょう!!!

- ・栽培作物の地際部の切断、適用薬剤による処理などで全ての株を枯死させます。
- ・その後、施設を密閉し蒸し込み処理を行います。
気温が低い11月～12月頃は、1カ月程度、施設を密閉しましょう。
- ・施設内に雑草が残っていると効果が劣るため、処理前に除草を行います。



タバココナジラミ成虫

【その他の病害虫】

作物名	病害虫名	発生量	特記事項
野菜類・花き類	アブラムシ類	並	各種トラップへの誘殺数は平年並。
キュウリ	褐斑病	並	現在までの発生量は平年並。
	べと病	並	現在までの発生量は平年並。
	うどんこ病	並	現在までの発生量は平年並。 多発してからの薬剤防除では防除効果が劣るので、発生を認めたら早めに防除する。
	アザミウマ類	並	現在までの発生量は平年並。 抑制キュウリの栽培終了後はすべての株を速やかに枯死させる。施設内の除草を行い、施設を密閉し餓死させる。
イチゴ	うどんこ病	並	現在までの発生量は平年並。 多発してからの薬剤防除では防除効果が劣るので、発生を認めたら早めに防除する。
	ハダニ類	並	現在までの発生量は平年並。 発生量が多くなると防除が困難になる。天敵導入前の防除を徹底し、天敵導入後には影響のない薬剤を選択する。
ネギ	さび病	並	現在までの発生量は平年並。
	ネギアザミウマ	並	現在までの発生量は平年並。



詳しい予報、注意報、病害虫情報はこちらから

(病害虫発生予察情報一覧へリンク)

トラップデータデータも毎週更新中！！

(<https://www.pref.gunma.jp/07/p14210015.html>)



★農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている使用方法、注意事項等を確認して適正に使用してください。